

科目	現代思想文化論 (A Study of Modern Thinking and Culture)		
担当教員	本田 敏雄		
対象学年等	応用化学専攻・1年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	D2(100%)	JABEE基準1(1) (a)
授業の概要と方針	グローバルゼーションという語で特徴づけられる現代社会に生きる我々が日々直面している問題、個々人の存在感の希薄化等を、政治経済の問題としてではなく、むしろ地球規模で展開される文化史思想史の中の事件として捉える視点を学ぶ。自分たちの生き方を選び取るに際しても思想史の理解が重要となることを学生諸君に紹介し、今後多方面に進むであろう彼らの学問の方向に少しでも影響を与えることを期する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【D2】 グローバリゼーションとは何かを理解する。		グローバリゼーションを成立させる要因を理解したかどうかを、試験又はレポートで評価する。
2	【D2】 グローバリゼーションの背景にある価値観を理解しそれと対立する価値観を学ぶ。		効率性の理解とそれと対立する価値観とをどう理解したかを、試験又はレポートで評価する。
3	【D2】 それぞれの価値観の歴史的背景、展開、特徴を理解し、自分なりの解釈を確立する。		試験およびレポートにより、基礎的な概念を理解しているかどうか、そしてそれらを与えられたテーマに合わせて自分なりに展開する論述の完成度により評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	試験70パーセント、レポート30パーセントで評価する		
テキスト			
参考書	「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」：M・ウエーヴァー（岩波文庫） 「ギリシャ哲学と現代」：藤沢令夫（岩波新書） 「日本の霊性」：鈴木大拙（岩波文庫）		
関連科目			
履修上の注意事項			

